こころまち つくろう
KEIHAN
京阪ホールディングス

NEWS RELEASE

京阪ホールディングス株式会社
経営企画室 経営戦略担当(ブランド・広報)

2026(令和 8)年 11 月 27 日

～えきから始まるまちづくり～
枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業の取り組みが
大阪府から第 43 回「大阪府まちづくり功労者感謝状」を贈呈されました

京阪ホールディングス株式会社（本社：大阪市中央区、社長：平川良浩）が参画し、推進してきた枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業において、事業主体である「枚方市駅周辺地区市街地再開発組合」が、大阪府から第 43 回「大阪府まちづくり功労者感謝状」を贈呈されました。

「大阪府まちづくり功労者感謝状」は、大阪府内において魅力あるまちづくりの推進を図ることを目的に、地域住民自らが積極的に参画した取り組みや、人権の尊重、自然との共生、地域固有の歴史や伝統、景観、および災害への安全性等の向上において顕著な功績があった団体等に対し、大阪府知事より贈呈されるものです。この度、枚方市からの推薦もあり、本組合の取り組みが同賞の趣旨に大きく貢献したとして、評価されました。

枚方市駅周辺では、市街地再開発事業を中心に、共創による持続可能なまちづくりを展開してきました。一連の取り組みの中で、京阪グループは事業協力者として、市街地再開発事業を推進するとともに、エリアマネジメントによるエリア価値の向上を目指して、枚方 HUB 協議会を創設、現在は、その実働組織である枚方 LOOP 実行委員会を立ち上げ、ビジョンの実現を目指し、継続してソフト面でのまちづくりに取り組んでいます。

今後も引き続き、枚方市駅周辺においてまちの魅力と価値を高める「えきから始まるまちづくり」を推進し、持続可能なまちづくりを行うとともに、沿線の各地域でも地域に寄り添ったまちづくりを展開して、沿線全体の魅力向上を目指してまいります。



（別紙）

第 43 回大阪府まちづくり功労者感謝状について

■対象事業　　枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業

■対象者　　枚方市駅周辺地区市街地再開発組合

■授与理由　　「組合施行の市街地再開発事業により、良好な市街地形成に貢献」

枚方市駅周辺地区は、商業・オフィス・ホテル・居住機能などによる新たなランドマークを整備したことで、市内外から多くの来街者が訪れるなど、中心市街地における更なる賑わいを創出。また、公共空間と民間施設とのシームレスな空間を形成し、多くの人が行き交い、集う、活気にあふれた枚方の新しい玄関口を整備した。

大阪府のまちづくりグランドデザインでも位置づけされる大阪の成長・発展をけん引する拠点エリアの「京阪都市軸 郊外拠点エリア」において、都市の中心市街地の機能強化やまちなか居住の促進を図り、大阪・京都間の中心機能を担うエリア形成に寄与した。



【参考】えきから始まるまちづくり「枚方市駅周辺再開発」HP

枚方市駅周辺再開発事業について、様々な関係者のインタビュー記事による振り返りや再開発事業の経緯、年表などを掲載しております。

(https://www.keihan.co.jp/corporate/business/hirakatashi/)













以　上